

あおり教育フェスタの  
発表内容の一部について、  
紹介していきます！



こんな研究しています！

文責 研究委員会委員長 木村 浩

あおり教育フェスタ2017

研究員研究発表のご案内

☆発表日時：11月24日（金）発表順番4番

★発表場所：中研修室

11月24日（金）ポスター展示 第2研修室

11月25日（土）ポスター展示 中研修室

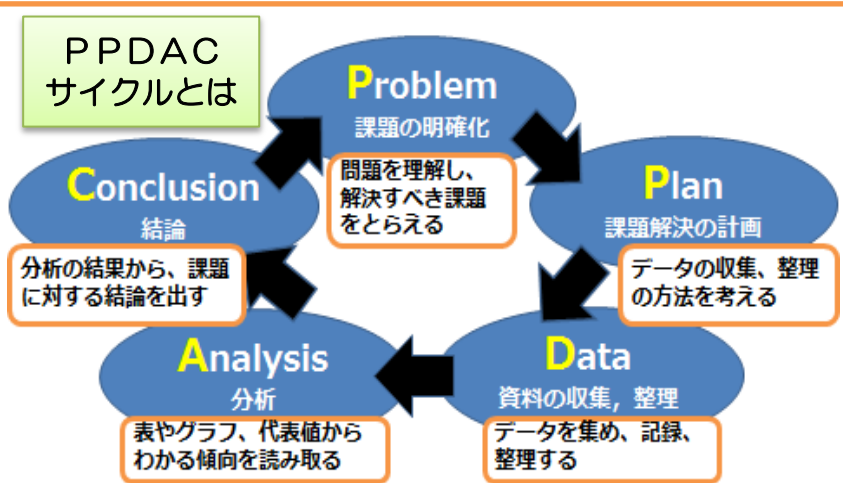
義務教育課 研究員 山中 貴志



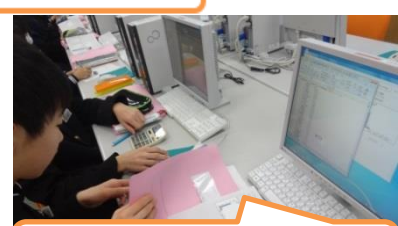
研究テーマ **中学校数学科第1学年「資料の活用」領域において  
資料の傾向をとらえ説明する力を育成する指導法の研究  
— P P D A C サイクルを通して —**

中学校数学科では、現行学習指導要領で「資料の活用」という、いわゆる「統計」を学ぶ領域が新設されました。第1学年では、資料を整理する方法として度数分布表、ヒストグラム、度数折れ線があること、傾向を読み取る数値（代表値といいます）として平均値、中央値、最頻値があることを学びます。この領域では、表やグラフに整理したり代表値を求めたりする知識・技能を身に付けることも必要ですが、それらを用いて「資料の傾向をとらえ説明すること」がより重要視されています。しかし、全国学力・学習状況調査や青森県学習状況調査の結果から、この「資料の傾向をとらえ説明する力」に課題があることが示されています。

そこで、統計的問題解決「PPDACサイクル」に沿って学習し、生徒が課題の設定から結論づけまでの一連のプロセスを経験することで、「資料の傾向をとらえ説明する力」が育成されるのではないかと考え、研究しています。



次期学習指導要領では、小学校第5学年・第6学年で、この統計的問題解決の内容を扱うことが示されています。したがって、中学校数学科の先生方はもちろん、小学校の先生方にもぜひ、聞いていただきたい内容です！



検証授業では統計ソフトを活用してデータの分析をしました。

あおもり教育フェスタ2017

研究員研究発表のご案内

☆発表日時：11月24日（金）発表順番4番

★発表場所：産業教育研修室

前頁同様、同会場にてポスター展示

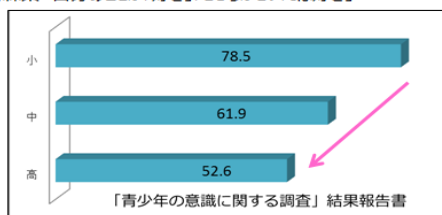


**発表テーマ：学級経営**

**中学生の自尊感情を育むための指導の在り方**

—居場所づくりプログラムの作成・実践を通して—

青森県 自分のことが「好き」「どちらかといえば好き」

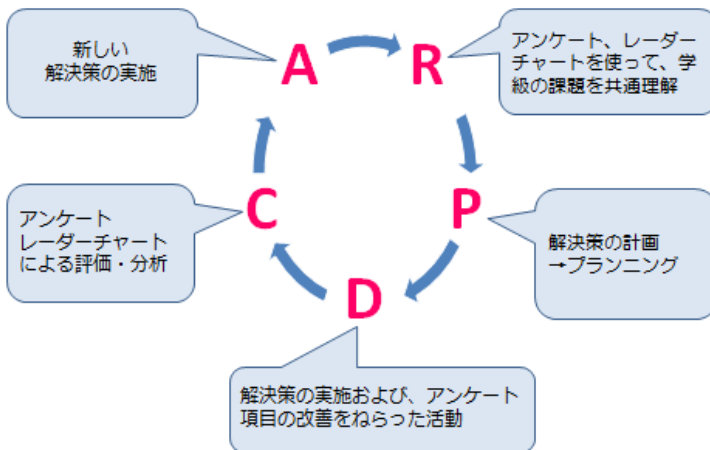


小学生から中学生にかけて低下する自尊感情。学校生活の充実が自尊感情の育成につながる事がわかっています。そこで、学級をさらに居心地の良い場所にするを目的としたプログラムを作成し、実践することで、自尊感情が育まれるか検証しました。

小→中→高で自尊感情が**低下**

**プログラムについて**

☆PDCAサイクル



☆実施したプログラム

時	授業名
1	オリエンテーション・アンケート①
2	プランニング①
3	項目を改善する活動
4	項目を改善する活動・アンケート②
5	プランニング②
6	項目を改善する活動
7	項目を改善する活動・アンケート③
8	プランニング③

**実施後の生徒の感想から**

「今までは自分の欠点や短所ばかり見ていたけど、クラスの仲間はどう思われているかわかって、自信をもつことができ、前向きにもなれたし、今では欠点や短所も全部自分自身なんだと、好きになることができました。」

内容の詳細は、あおもり教育フェスタ 2017でお伝えします！

あおもり教育フェスタ2017

平成29年11月24日（金）・25日（土）

KonKen 作成担当 産業教育課 石田 尚将 電話 017(764)1994